

# こいで よしかず 義

発行日平成 29 年 2 月 1 日

事務所〒475-0828 半田市瑞穂町 5-3-18 ☎0569-58-0967

連絡所〒475-0078 半田市新池町 2-201-22 ☎0569-29-061

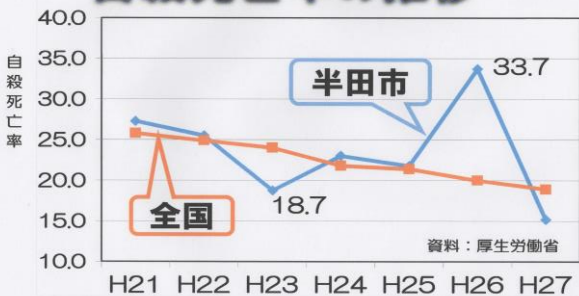
# 38

## みんながみんなのサポーター



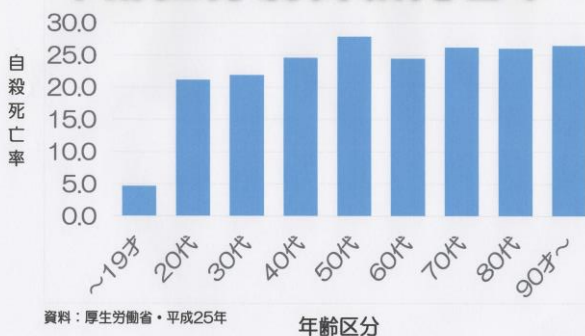
## 自殺対策 第2弾!!

### 自殺死亡率の推移



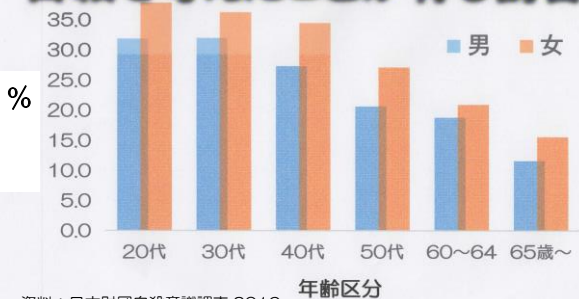
半田市でも高い自殺死亡率が…  
 全国で毎年2万4千人以上の方が、自ら命を絶っています。先進7カ国中最下位です。自殺は防ぐ事ができ、対策が必要です。  
 左のグラフは、半田市と全国の100万人当たりの発生件数の推移を比較したものです。ともに減少傾向にはありますが、半田市では平成26年が高い数値です。この説明と対策が必要です。これまでの自殺対策は国と県が中心で、基礎自治体は基本的な情報すら把握していません。  
 自殺対策基本法の改訂により基礎自治体に基本計画策定が義務付けられており、確かな実態把握の可能な改善が必要です。

### 年齢区分別自殺死亡率



50代は自殺死亡率が  
 200代は自殺念慮の割合が高い  
 左のグラフは、平成25年の全国の年齢区分毎の自殺死亡率を表したものです。  
 死亡率では50才代が最も高く、次いで70才以上も高い数値です。19才までの4倍になります。  
 下のグラフは、日本財団の調査結果で、20~30才代の3割以上が自殺を考えたことがあることが解りました。  
 多くの働き盛りの方や高齢の方が自ら命を絶ち、未来を背負うべき若者の多くが死と向き合っている。この事実と背景に目を向け、解決していく必要があります。

### 自殺を考えたことが有る割合



みんなでも支え合っ心が大切です  
 年代別に考えることで、その背景にあるものにも気づきます。自治体毎が取組む必要性も、そんなところにあります。  
 自殺の要因根絶も勿論ですが、思い悩んでいる方と向き合うことも大切です。  
 ゲートキーパーは、息苦しさでもがいている方の相談役です。神奈川県では既に、教員・企業の労務担当・医師・薬剤師・公務員など様々な方を対象に、10万人のゲートキーパーを養成しています。半田市では100人程度で10分の1割合です。みんながみんなのサポーターになれるような、社会で支え合う仕組みが必要です。

給食改善  
第2弾!!

# 学校給食の「美味しく安全」を追求!!



美味しく安全な給食の現実に向け…  
現在の半田市学校給食センターは、施設は老朽化し、施設改善も望まれており、横山町への移転に向け準備が進められています。新たなセンター建設は、美味しく安全な学校給食を可能にするよう計画しなければなりません。

近年、加工食材の製造過程や農産物・水産物の取り扱いに於いても、厳格な管理基準が設けられています。しかし、基準があるから安全ではなく、基準通りに運用されていることが大切です。農産物の残留農薬事件は後を絶たず、生産者の顔が見える安全な食材供給システムづくりが必要です。



学校給食の野菜供給システムを提案…

この度、静岡県富士市や千葉県君津市の低農薬野菜を学校給食へ供給するシステムを視察してまいりました。

富士市は、自校で給食調理を行っており、学校から生産者を指定できる仕組みを、卸売市場が中心でつくっていました。君津市は、J.Aきみつが中心です。地場農産物を学校給食へ供給する一方で直売所での販売も行い、直売所の売上は年間13億円とのことでした。新鮮で安全な野菜の価値が評価された、結果だと思えます。また、収穫時期の拡大に向け、品種の研究も行っていました。

この様な事例を参考に、半田市の美味しい学校給食を実現したいと考えます。

気楽に

## まちと地域を語るざだん会



2月25日(土)午後7時~in 瑞穂記念館

テーマ:新年度予算・地域課題

暮らし易さを足元から、皆さんと共に考えます。お気軽にご参加ください。

Tel&fax: 0569-58-0967 E-mail: y-koide@cac-net.ne.jp